

# 学習者用操作ガイド (PC用)

 **解答のテクニック**  
Lecture

非言語分野

**基礎** 非言語分野

言語分野

 **演習問題**  
Drill

非言語分野

**基礎** 非言語分野

言語分野

 **算数・数学の基礎**  
Math basics

**基礎** 算数・数学の復習

 **SPI模擬テスト**  
Pre test

 **マークシート**

非言語分野

言語分野

 **WEBテストティング**

非言語分野  
言語分野

 **テストセンター**

非言語分野  
言語分野

玉手箱

TG-WEB

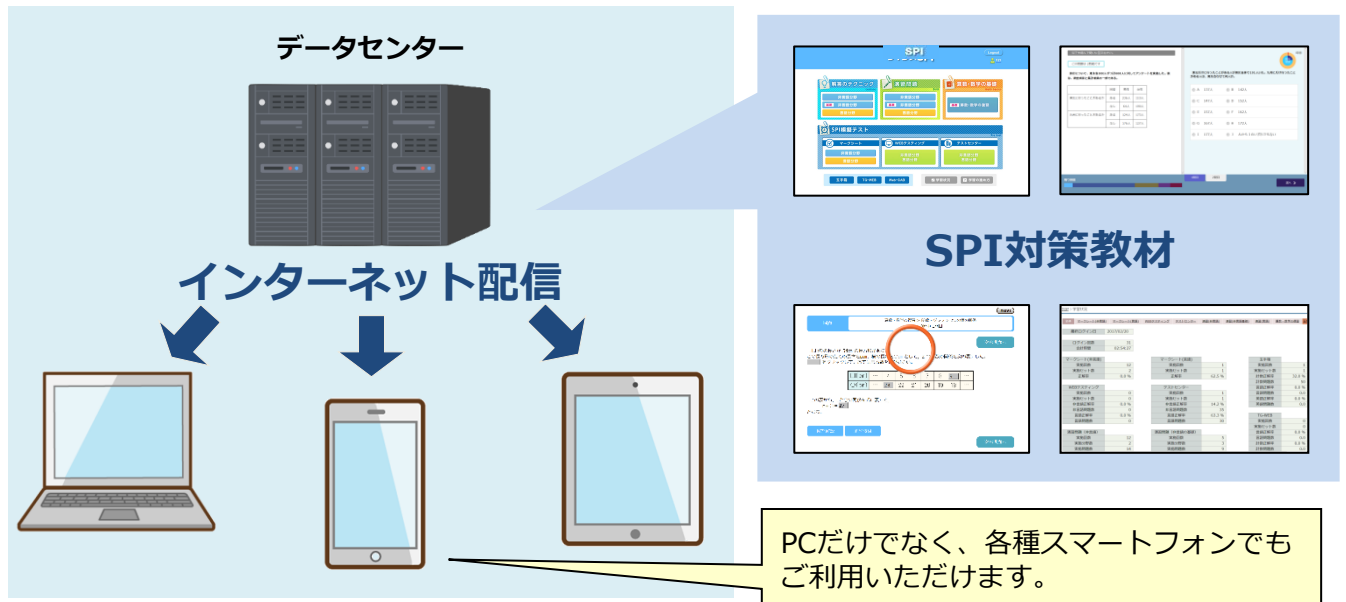
Web-CAB

 学習状況

 学習の進め方

## ■システム概要

インターネットを使って、5教科（国語、英語、数学、理科、社会）の基礎・基本を効率良く学び直すことができるシステムです。PCだけでなく、各種スマートフォンでもご利用いただけます。



## ■学習の流れ

SPIの模擬テストは3種類に分かれています。まずは、マークシートの模擬テスト「非言語分野」「言語分野」を行い、自分の得意分野・不得意分野を確認しましょう。

模擬テストの結果をもとに、自分の不得意分野に絞って解答のテクニック、演習問題、必要に応じて非言語分野「算数・数学の基礎」に取り組みます。

解答のテクニック・演習問題で理解が進んだら、再度「模擬テスト」にトライしてください。「模擬テスト」「演習問題」「算数・数学の基礎」の結果は学習状況で確認できます。テストセンター方式が就職試験の主流ですので、繰り返し実施して慣れておきましょう。

まずは「SPI模擬テスト」にチャレンジ

つまづいたところを解答のテクニック・演習問題で学習

再度「SPI模擬テスト」にトライ

## ■ログイン

指定のアドレスにアクセスし、自分のユーザーIDとパスワードでログインしてください。

ユーザーID	パスワード
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

## ■トップ画面

ログインすると下記のトップ画面が表示されます。  
学習をはじめするには、各選択ボタンをクリックしてください。

### ■解答・問題・基礎の選択ボタン

各種、解答解説・問題の画面を開きます。

### ■Logoutボタン

ログイン前の画面に戻ります。

### ■ログインユーザー表示

現在ログインしているユーザーのIDが表示されます。

The screenshot shows the SPI user interface. At the top, there is a blue header with the text "SPI" and a "Logout" button next to a user profile icon labeled "121". Below the header, there are three main content areas: "解答のテクニック" (Lecture), "演習問題" (Drill), and "算数・数学の基礎" (Math basics). Each area contains buttons for "非言語分野" (Non-verbal) and "言語分野" (Verbal), with a "基礎" (Basic) button in the first two. The "算数・数学の基礎" area has a "基礎 算数・数学の復習" (Basic Math Review) button. Below these is the "SPI模擬テスト" (Pre test) section, which includes "マークシート" (Mark sheet), "WEBテストング" (Web testing), and "テストセンター" (Test center). At the bottom, there are navigation buttons: "玉手箱" (Toolbox), "TG-WEB", "Web-CAB", "学習状況" (Learning status), and "学習の進め方" (How to proceed with learning).

### ■玉手箱・TG-WEB・Web-CAB 選択ボタン

それぞれの試験対策画面を開きます。

### ■学習状況表示ボタン

学習履歴画面を開きます。

### ■SPI模擬テスト選択ボタン

SPI各種テスト形式の画面を開きます。

# ■SPI模擬テスト選択画面

マークシート方式だけでなく、WEBテストやテストセンターの模擬テストも収録。さらにSPI以外にも玉手箱・TG-WEB・Web-CABの対策も行えます。テスト方式を選んでクリックしてください。

## SPI模擬テスト Pre test

**マークシート**

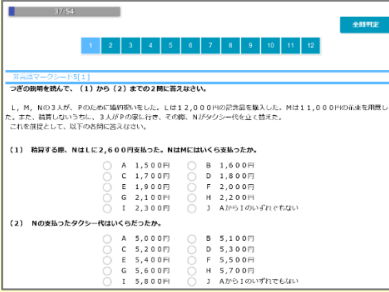
非言語分野  
言語分野

**WEBテスト**


非言語分野  
言語分野

**テストセンター**

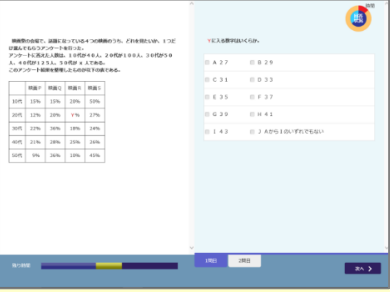
非言語分野  
言語分野



マークシート方式（ペーパーテスト）の模擬テストです。言語・非言語それぞれ8パターン用意しています。



WEBテストの模擬テストです。言語と非言語が連続して出題されます。3パターン用意しています。

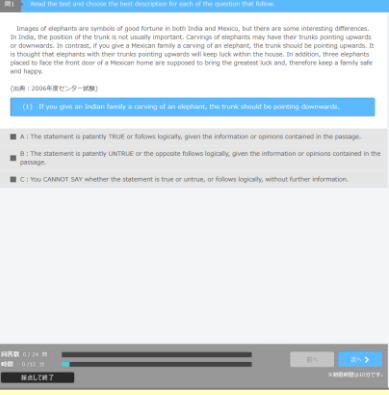


テストセンターの模擬テストです。言語と非言語が連続して出題されます。5パターン用意しています。（回答状況による難易度分岐に対応しています。）

玉手箱

TG-WEB

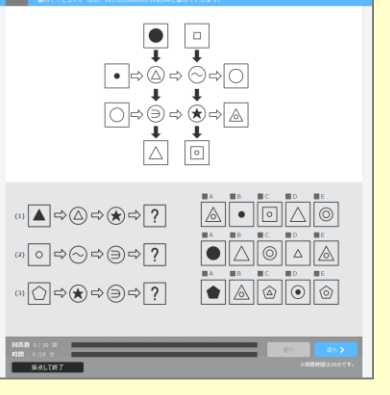
Web-CAB



玉手箱の対策教材です。



TG-WEBの対策教材です。



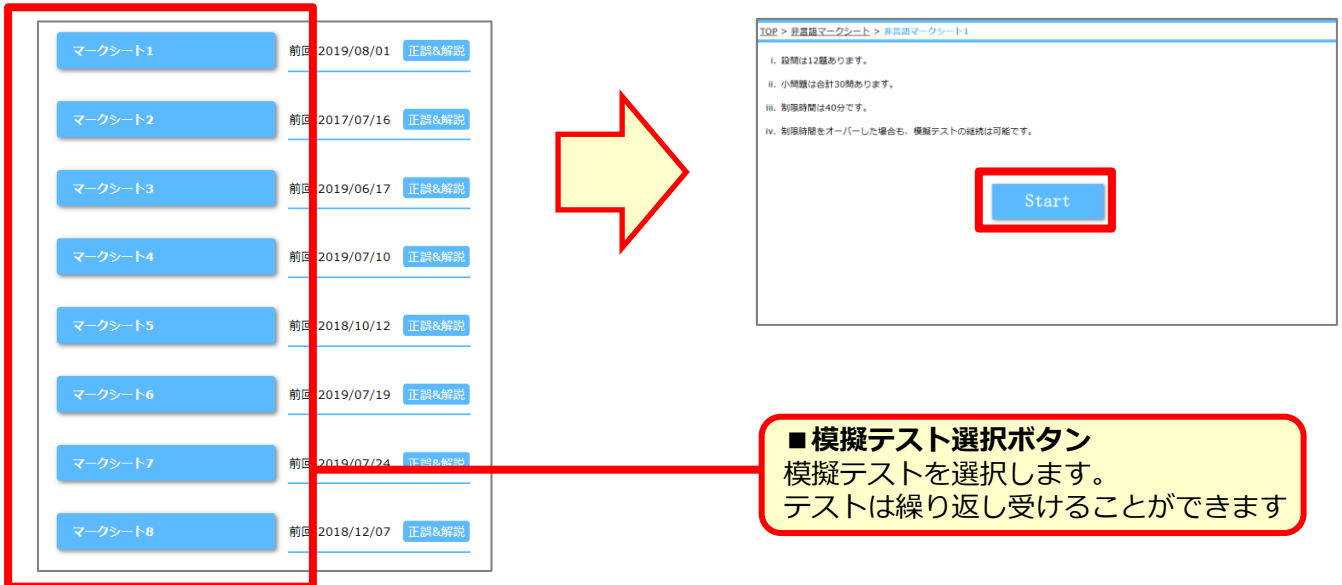
Web-CABの対策教材です。

## ■SPI模擬テスト

テスト方式を選択すると、テスト選択画面が表示されます。

(下記はマークシート非言語分野を選択した際の例)

**マークシート** をクリックしてテストを選択してください。次に **Start** をクリックすると模擬テストが始まります。



The screenshot shows a list of mark sheets (マークシート1 to マークシート8) with their respective dates and '正誤&解説' (Correct/Incorrect & Explanation) buttons. A large yellow arrow points from this list to a 'Start' button on a subsequent screen. A red box highlights the 'Start' button.

**■模擬テスト選択ボタン**  
模擬テストを選択します。  
テストは繰り返し受けることができます

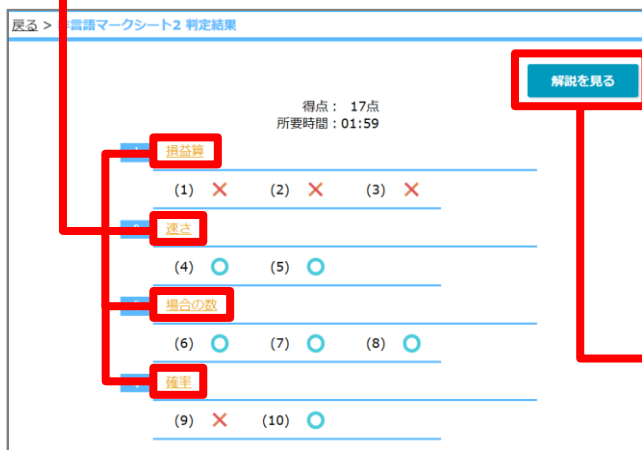
解答を選択し、画面上部 1 2 3 の次の番号をクリックして問題を進めます。全ての問題を解き終わったら **全問判定** をクリックしてください。



The screenshot shows a question screen with a progress bar at the top indicating 37:54. A row of buttons numbered 1 to 12 is visible, with button 2 highlighted. A red box labeled '次の問題へ' (Next Question) points to button 2. Another red box labeled '全問判定' (All Questions Judgment) points to the '全問判定' button in the top right corner.

**■全問判定ボタン**  
全ての問題の回答を終えたらクリックします。

**■分野名をクリック**  
解答のテクニックを確認することができます。



The screenshot shows the answer review screen with a score of 17 points and a time of 01:59. A list of questions (1) through (10) is shown with their status (correct or incorrect). A red box labeled '解説を見る' (View Explanation) points to the '解説を見る' button. Other red boxes highlight the question numbers and their status.

**■解説を見るボタン**  
解説を確認することができます。

WEBテスト、テストセンターの画面の構成については、それぞれの模擬テスト選択画面下部の「SPIテストセンター試験の受験テクニック」のページを確認してください。



## ■ 演習問題選択画面

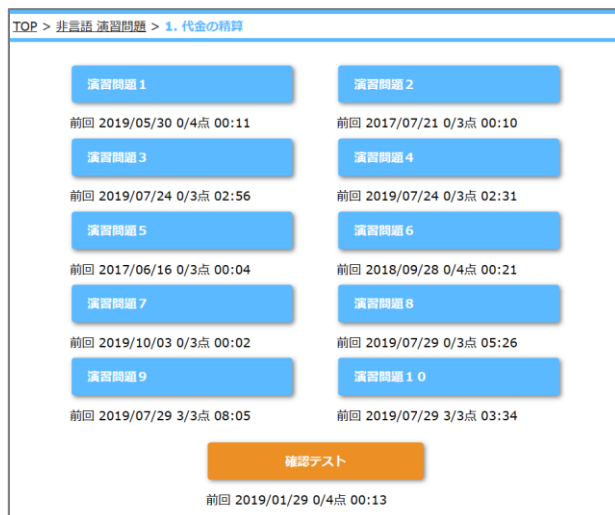
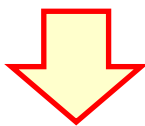
演習問題は、非言語分野・言語分野に分かれています。非言語分野が難しいと感じた場合には、**基礎** 非言語分野 を選択してください。



### ■ 演習問題ボタン

3つの分野から選択してクリックします。

分野を選択すると出題パターンに分類した画面が表示されます。出題パターンを選んでクリックしてください。



出題パターンをクリックすると演習問題10題を選択する画面が表示されます。演習問題を選んでクリックすると問題が始まります。自信がついたら **確認テスト** を受けてみましょう。

## ■ 演習問題

演習問題は回答を選択し、画面上部 1 2 3 次の番号をクリックして問題を進めます。全ての問題が解き終わったら **全問判定** をクリック。判定結果が表示されます。

**解説を見る** をクリックすると解説をみることができます。

演習問題は2,000問以上収録しています。

### ■ 全問判定ボタン

全ての問題を回答終わったらクリックします。

09:48

1 2 3

非言語 1. 代金の精算 演習問題 1 [1]

つぎの説明を読んで、(1)と(2)の2問に答えなさい。

L、M、Nの3人がAのために転居祝いをした。Lは20,000円の転居祝いを出し、Mは13,000円の花束を用意した。

(1) この時点で、3人が同額ずつ負担するとすればNはLにいくら支払えばよいか。次のA~Iの中から1つ選びなさい。

【基礎】

A 3,000円     B 5,000円  
 C 6,000円     D 7,000円  
 E 8,000円     F 9,000円  
 G 10,000円    H 11,000円  
 I 12,000円

### ■ 解説を見るボタン

解説をみることができます。

戻る > 非言語 1. 代金の精算 演習問題 1 判定結果

4問中3問正解  
 所要時間 : 00:10

[1] (1)  【基礎】  
 (2)  【初級】

[2] (3)  × 【基礎】

[3] (4)  【基礎】

戻る > 非言語 1. 代金の精算 演習問題 1 解答解説 [ 3 ]

1 2 3

(4) Xが卒業することになり、P、Q、Rの3人がXの送別会をおこない、お祝いの品を贈ることになった。お祝いの品はPが4,000円で購入し、Qが宴会代 11,000円を支払い、Rはタクシー代 3,000円を支払った。これらの代金をP、Q、Rの3人で同額ずつ負担することにした場合、RはQにいくら支払えばよいか。次のA~Eの中から1つ選びなさい。

【基礎】

A 3,000円     B 4,000円  
 C 5,000円     D 6,000円  
 E 7,000円

問題で提示された数字を表に記入します。 正解 A

	支払額	負担額	精算額
P	4,000円	6,000円	-2,000円
Q	11,000円	6,000円	+5,000円
R	3,000円	6,000円	-3,000円
合計	18,000円	18,000円	0円

支払額 : 4,000円 + 11,000円 + 3,000円 = 18,000円  
 負担額 : 18,000円 ÷ 3人 = 6,000円  
 支払額と負担額を精算すると、Qは5,000円払い過ぎた状態。  
 PがQに2,000円、RがQに3,000円支払います。

解説が表示されます。

# ■ 解答のテクニック

解答のテクニックは、非言語分野・言語分野に分かれています。非言語分野が難しいと感じた場合には、**基礎** 非言語分野 を選んでクリックしてください。



**■ 解答のテクニックボタン**  
3つの分野から選択してクリックします。



分野を選択すると出題パターンに分類した画面が表示されます。出題パターンを選んでクリックしてください。

分野選択画面を下にスクロールしていくと、先行して学習すべき分野についてのアドバイスが書かれています。特に、非言語分野は効率よく学べる学習の順序が詳しく書かれていますので、確認しましょう。

過去問題のパターンを分析し、パターンごとの解答のコツを理解します。  
実践編になっていますので、基礎から始める場合は、『非言語の基礎』を先行して学習します。

**A. B、C、Dの順番で学習しましょう。**

**A. SPI試験以外では見ることがない、独特な問題です。**  
見た目が難しそうですが、解き方のコツを覚えることで比較的簡単に正解を得ることができる分野  
※ グラフと領域、入出力装置、経路図はSPIマークシートでのみ出題される分野です

8. グラフと領域
9. 集合
11. 表の読取
12. 入出力装置
13. 経路図

**B. 小学校で学習した内容で、中学受験と同等の問題です。**  
小学校算数の復習で正解を得ることができる分野

1. 代金の精算
2. 料金の割引
3. 分割払い
4. 損益算
5. 速さ
6. 場合の数
7. 確率
14. 資料・長文の読取

**C. 論理展開力を確認する問題です。**  
10-1. マークシート・テストセンター推論  
10-2. WEBテストイング推論

**D. 論理展開力を確認する問題です。**  
SPI WEBテストイングで出題される分野  
出題頻度が高くないので、時間に余裕があれば学習する分野

15. 文字列の規則性
16. フローチャート
17. 論理式

● **分数表記の注意**  
SPIテストセンター、SPI WEBテストイングの本試験では、分数は小中学校で使った  $\frac{3}{4}$  ではなく、 $\frac{3}{4}$  の表現方法が使われています。  
この分数表記に慣れるために、解答のテクニックと模擬試験は  $\frac{3}{4}$  の方式で分数を表記しています。  
この表記法の注意点  
 $1/(x-5)$  は  $\frac{1}{x-5}$  の意味です。  
 $(x-5)/5$  は  $\frac{x-5}{5}$  の意味です。

● **パターンごとにSPI試験種類別の出題傾向を示してあります。**  
テストセンターは "TC"、WEBテストイングは "WEB"、マークシートは "MS" と略しています。



# ■ 解答のテクニック（関連する基礎教材と連動）

解答のテクニックでは、パターンごとの解答のコツが分かるほか、例題を解くこともできます。さらに非言語分野の解答のテクニックは、解説動画や、その内容と関連する算数・数学の基礎教材と連動しています。不得意分野は、基礎に遡って学習することができます。

TOP > 非言語 解答のテクニック > 1. 代金の精算

概要 基礎のチェック!

割り勘の計算問題です。割り勘の計算なので、時間をかければ誰でも解けますが、精算表を使うと短時間で解くことができます。精算表の理解が必須です。必要であれば精算表の使い方を先に学びます。  
⇒ 右上の【基礎のチェック!】から進んでください。

解答のテクニック

✓ 基本

1. 基本パターン

出題傾向 [TC:O WEB: - MS:O]

特徴  
各人の支払金額が明記されています。

ポイント

---

例題1  
P、Q、Rは3人で旅行に行った。交通費としてPが18,000円、宿泊代としてQが36,000円支払った。昼食のお弁当代としてRは4,800円を支払った。3人の支払額を同額にするためには、RはQにいくら払うことになるか。

答え：  
 A 12,400円     B 12,900円  
 C 13,600円     D 14,100円  
 E 14,800円     F いずれでもない

判定

■ 例題  
解答のコツを確認しながら、例題に取り組みます。答えを選択し、判定をクリックすると、回答が判定され、解説を表示できます。

■ 解説動画ボタン  
より詳しい解説動画を見ることができます。

■ 算数・数学の復習!ボタン  
関連する算数・数学の基礎教材のリンクが表示されます。

TOP > 非言語基礎 解答のテクニック > 7. 損益算

概要 解説動画 算数・数学の復習!

「原価に○割の利益を見込んで定価を設定」、「売れ残った△値を定価の△円引きで販売」といった情報から、定価、原価、利益の値を求める、という問題です。

解答のテクニック

ポイント  
原価・定価・利益の言葉の意味とその関係を理解することがコツです。

- 言葉の意味:

仕入れ値	原価とも言う
見込み利益	定価設定にあたり、予め見込んだ利益
定価	仕入れ値に見込み利益を加えたもの
値引き(割引)	定価で販売できなかった場合には値引き販売をすることになる
販売価格	定価から値引き額を引いたもの
実現利益	販売価格から仕入れ値を引いた結果の数値

- 上記の言葉を図で表す:

定価	見込み利益	値引き	販売価格
	仕入れ値		

定価 = 仕入れ値 + 見込み利益  
 販売価格 = 定価 - 値引き  
 実現利益 = 販売価格 - 仕入れ値

TOP > 非言語基礎 解答のテクニック > 7. 損益算

概要 解説動画 算数・数学の復習!

【算数・数学の復習!】  
○～割引、△%引きの意味を理解する。  
例えば、「1,000円の2割引」という表現は、 $1,000円 \times 0.8 = 800円$ です。  
この計算ができない人は、算数・数学の基礎教材のリンクができるようにします。  
算数・数学の復習 > 割合せ・確率・統計 > 百分率

「原価に○割の利益を見込んで定価を設定」、「売れ残った△値を定価の△円引きで販売」といった情報から、定価、原価、利益の値を求める、という問題です。

解答のテクニック

ポイント  
原価・定価・利益の言葉の意味とその関係を理解することがコツです。

- 言葉の意味:

仕入れ値	原価とも言う
見込み利益	定価設定にあたり、予め見込んだ利益
定価	仕入れ値に見込み利益を加えたもの
値引き(割引)	定価で販売できなかった場合には値引き販売をすることになる
販売価格	定価から値引き額を引いたもの
実現利益	販売価格から仕入れ値を引いた結果の数値

- 上記の言葉を図で表す:

定価	見込み利益	値引き	販売価格
	仕入れ値		

7. 損益算

損益算 例題

定価1,200円の商品を25%引きで売ったところ、仕入れ値の20%の利益を得た。この時、商品1個当たりの仕入れ値はいくらか。

定価の25%	1,000円
仕入れ値の20%	200円
見込み利益	1,200円
仕入れ値	750円
販売価格	900円

実現利益 = 仕入れ値 × 20%  
 販売価格 = 仕入れ値 + 実現利益 = 仕入れ値の120%  
 仕入れ値 × 1.2 = 販売価格  
 仕入れ値 = 販売価格 ÷ 1.2

講師による詳しい解説動画を閲覧できます。

ランポイント ドリルを行う 確認問題 解ける

【考えてみよう】  
商品の売し方について考えましょう。

パーゲンセールで、定価1200円のタオルが960円で売られています。  
定価をもとにしたときの、代金の割合を求めましょう。

割合 = 比べられる量 ÷ もとにする量の式で求めて考えます。  
もとにする量は定価、比べられる量は代金なので、  
式  $960 \div 1200 = 0.8$

答え 0.8

問題 算数・数学の復習 > 割合せ・確率・統計 > 百分率 > 百分率

パーゲンセールで、7割のおぼんが40%引きの値段になっているか。

解答欄

5240円

4680円

5410円

4820円

SPIの解説内容に関連した、算数・数学の解説教材とドリルが学習できます。  
(例：損益算→百分率)

# ■ 学習履歴の確認

学習結果は、トップ画面右下の **学習状況** から確認できます。実施回数や正解率などを確認できます。また項目ごとにテスト結果は棒グラフ、演習はレーダーチャートで表示され、どの項目を学習すべきか一目でわかります。

最終ログイン日	2017/02/23
ログイン回数	36
合計時間	03:01:30

マークシート(非言語)		マークシート(言語)		玉手箱	
実施回数	16	実施回数	1	実施回数	1
実施セット数	2	実施セット数	1	実施セット数	1
正解率	6.6 %	正解率	62.5 %	計数正解率	32.0 %
				計数問題数	50
				言語正解率	0.0 %
				言語問題数	0.0
				英語正解率	0.0 %
				英語問題数	0.0

WEBテスト		テストセンター		TG-WEB	
実施回数	0	実施回数	1	実施回数	0
実施セット数	0	実施セット数	1	実施セット数	0
非言語正解率	0.0 %	非言語正解率	14.2 %	言語正解率	0.0 %
非言語問題数	0	非言語問題数	35	言語問題数	0.0
言語正解率	0.0 %	言語正解率	63.3 %	英語正解率	0.0 %
言語問題数	0	言語問題数	30	英語問題数	0.0

演習問題 (非言語)		演習問題 (非言語の基礎)	
実施回数	15	実施回数	5
実施分野数	2	実施分野数	3
実施問題数	14	実施問題数	9

